

第二部 ワークショップ  
～避難所の課題を振り返ってみる～

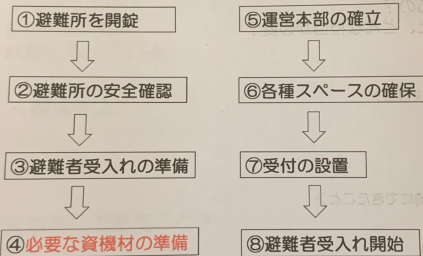
今日お出しした課題は、能登半島地震発生時から珠洲市正院小学校で避難所運営に関わった大月真由美（日本防災士会副理事長、石川県防災士会副理事長）さんが、ご自分の経験をもとにワークショップ用に構成・作成されたものをお借りして、「あなたならどうする？」として皆さんと一緒に考えてきました。

では、一緒に振り返ってみましょう。

皆さんには、**避難所を運営する立場**に立って、どのように対応して行くか？各グループで、以下の2点に絞って協議して頂きました。

- 問題に対しどのように解決できるかを具体的に行動レベルで考える
  - この問題を防ぐ、または最小限にするには事前でできることは何かを考える
- では各グループから発表して頂きます。  
・・・

避難所開設の概ねの流れ (一つの事例です)



答えたの例

(法隆寺の場合)

令和7年12月12日

課題1 (回答例)

避難所には800人程の避難者がいて、避難所及び避難所駐車場の“どこに誰がいるか”わからない状態になっている。

<解決方法>

- できる限りの人数を把握する
- 受付、名簿を作る
- 入り口を決めておく

<事前にできたこと>

- 入り口を1か所とし、受付を作る
- 避難所訓練を行う
- 必要物品の用意と確保（紙と筆記用具の準備）

課題2 (回答例)

避難所を開設したが・・・誰が避難所運営を担当するの？また、どんな担当が必要？

<解決方法>

- 避難所運営本部を設置する
- 本部が出来ていない場合は、**まず自分が動く！**
- まず、ショバ割りとう受付を用意する。
- 運営の仲間を作る→知人・友人に手伝いを呼びかける
- 今、**一番必要な役割を考える**→作る
- 役場の担当や自主防災、自治会役員が来るまでは避難者で運営する

<事前にできたこと>

- 避難所開設・運営訓練を体験する
- 避難所開設・運営の手順を知っておく
- 避難所運営に必要な役割を知っておく
- 避難所開設・運営に必要な物資を事前に用意しておく

課題3 (回答例)

避難所のトイレが大変なことになっている。

<解決方法>

- トイレの利用ルールを決める→避難者へ周知
- 汚物処理の方法を決める
- 流す水を確保する→下水が使えない場合もある
- 場合によっては、別の場所に簡易トイレを設置する
- 避難者全員で順番にトイレ当番を

<事前にできたこと>

- 簡易トイレの活用と使用方法の体験
- 事前に施設内以外の仮設トイレの場所を確保する

課題4 (回答例)

避難所に物資が届くようになった。  
しかし、玄関先に荷物が山のようにになっている。  
どうしたらいい?

<解決方法>

- 物資を移動させる場所を決める→保管場所を決める
- 避難所で声かけし手伝ってもらえる人を集めて、一列互い違いになってリレー運搬する→被災者の力を借りる
- 数を大まかに数えて管理を開始→管理責任者の決定

<事前にできたこと>

- 物資班を作る
- 避難訓練の時にリレー運搬の練習

課題5 (回答例)

避難所の支援物資を在宅避難者が夜や早朝に持って  
行くと被災者同士で言い争いをしている。

<解決方法>

- 支援物資を取りに来る時間を決める→周知する
- 決めた時間帯には、担当者を配置
- できる限り、避難所にある支援物資を把握しておく

<事前にできたこと>

- 支援物資の保管場所を決めておく
- 物資担当者を決めておく
- 物資引渡しルールを決めておく

課題6 (回答例)

行政からのお知らせや通知が放送で流されているが、  
高齢者やその時にいない人への情報が伝わらない

<解決方法>

- 被災者向けの掲示板を設置する
- 情報伝達係を決める
- 定時刻に、避難者へ案内を行なう

<事前にできたこと>

- 事前に情報伝達訓練を行う→避難所開設・運営訓練時に



特定非営利活動法人 奈良防災士会 植村信吉